

成人学級 4回目 高齢者の体験談を聞く

月 日	令和7年2月5日（水）
時 間	9：30～11：50
会 場	相模台公民館 大会議室
主 管	相模台公民館成人学級運営委員会

今回は、地域の宝としてお二人の人生経験をお聞きしました。
 西倉 勝さん99歳「シベリア抑留」のお話し、兼田 智子さん92歳「紙芝居で伝える戦争体験」を鑑賞しました。
 お二人とも「戦争はダメ」「次の世代に伝えていきたい」と強い使命感をお持ちでした。人生の先輩から、これからの生き方に課題をいただきました。



NHKのニュースで取り上げられました。



ロシアの捕虜となって3年間、極寒の地で耐え抜きました。



西倉さんの大きな声、はっきりした言葉に、引き込まれました。極寒のシベリアの状況に呆然としました。



コムソリスク収容所での厳しい労働とわずかな食事、特に亡くなった仲間への思いをいだいて「語り部」として活動されています。



ピース紙芝居劇場の代表 兼田さんが少女時代の体験をもとに作った「ゆきちゃんとドロップス」。情感いっぱいです！



兼田さんの夫と義母の話をもとに作った「母と軍刀」です。手づくり紙芝居コンクール」優秀賞受賞作品です。



92歳（俳優）
毎日の発声練習を怠りません。



西倉さん

兼田さん・飯島さん・本多さん
（ピース紙芝居劇場のみなさん）



99歳（元社会保険労務士）現在は、新宿の平和祈念展示資料館で語り部をされています。